

みんなの広場

ぼくとわたしの

夢

新冠小学校6年生です



私の夢は友達をたくさん作って、どこかに旅行をしに行くことです。友達と旅行に行ったら楽しいからです。
前田 妃凧葵



私の夢は獣医になることです。なぜなら、動物が好きだから病気で亡くなる動物を救いたいからです。
松原 瑠香



ぼくの夢は、特に決まっていませんが、大好きなバレーボールに関係する仕事をしたいです。
村上 晴哉



ユーチューバーになって見る人が幸せになるような動画を作りたい。
山岡 柊斗

新冠百話

第六十四話 「昔の遊びと生活(語り)」(要約文)

新冠にまつわるお話しを集めた
昔は、これとっておもしろいものがあったから、自分達で作ったもの、または親たちに作ってもらったもので遊ぶことが多かった。コマなどは学校へ行ったときに、今で言う工作の時間に先生が見本を出して、それを見ながらみんなで作ったものです。それから作ったコマで勝ち負けを競うのです。コマ回しは最高の遊びでした。お正月になれば百人一首の大会をしました。竹馬もやっただけでも、あれは竹馬の長さによっては危険です。たまにケガをする子どもがいました。大体自分の背丈よりも二〇センチくらい高いものがちょうどいい。それから竹トランプもやっただけ、飛ぶ子と飛ばない子がいきました。バランス良くプロペラを削るのが難しいのです。

サケは昔、自由にとることができました。新冠川は今では水も少なくて狭くなったけど、昔は魚がたくさんいた。サケよりもマスがたくさんいた。今使っている海釣り用の竿で釣っていましたよ。一日に五本くらい釣ればもう最高だった。七月頃のマス釣りといえば本当に楽



昔、エゾヤマドリと呼んでいた「エゾライチョウ」

しかつたね。これは昭和十六年から十八年頃の話。
冬になると、今で言うエゾライチョウ、昔はエゾヤマドリと言っていたけど、これがたくさんいました。群生していたのはマニソロ(今の万世)辺りで、一カ所に三十羽ほどいたことがある。猟銃で撃っているうちに弾がなくなったのでその日の猟はおしまい、ということがあつたくらいです。現在のように禁猟なんてなかったし、今もライチョウはいるけど本当に少なくなつたね。
明治の御料牧場開設当時、新冠にオオカミがたくさんいてエドウィン・ダンから駆除の方法を授けてもらって駆除をしたという話を聞いていますが、確かにオオカミはいたようです。私が昭和十四年に御料牧場にお世話になった時もオオカミの骨が農場に残っていた。だからいたのは事実ですね。

戸籍の窓

12月6日～1月20日までの届出分(敬称略)

●お誕生おめでとうございます

石井 瑠音(壘 亜美) 中央町

●おくやみ申し上げます

瀬川 英毅	8 1 歳	美 宇
柏木 良雄	9 8 歳	中央町
野村 成志	9 1 歳	北星町
藤本 智子	6 6 歳	本 町
小野寺 祥子	8 7 歳	太陽
武田 洋一	4 6 歳	高江
千葉 寿幸	7 3 歳	東 町
古川 武志	9 0 歳	大狩部
佐藤 一司	8 6 歳	本 町
杉谷 俊治	6 8 歳	節婦町
松本 和夫	9 3 歳	美 宇
川上 ケイ子	8 9 歳	節婦町
佐々木 末子	7 7 歳	節婦町
横井 はるみ	9 7 歳	北星町

●お問い合わせ先
町民生活課町民生活グループ住民係
☎ 0146・47・2112

住宅用火災警報器を設置しましょう

～火災から大切な家族の命を守るため

～自分自身の命を守るため

～地域の安心・安全を守るため

消防署新冠支署

火災・救急出動状況 () かつこ内は前年同期			
区分	火災件数	救急件数	
6年1月	0件(0件)	30件(28件)	
5年1～12月	5件(7件)	347件(351件)	
交通事故発生状況 () かつこ内は前年同期			
区分	発生件数	死者	傷者
6年1月	0件(0件)	0人(0人)	0人(0人)
5年1～12月	3件(7件)	0人(0人)	3人(12人)

人のうごき

(令和6年1月末現在)

人口	5,134人	(前月比 - 2人)
男	2,558人	(前月比 - 1人)
女	2,576人	(前月比 - 1人)
世帯	2,805世帯	(前月比 + 1世帯)

「新冠の碑(いしづみ)」(37) 『馬頭観世音(大狩部)』



○馬頭観世音(ばとうかんぜおん)
 建立年 昭和48年
 所在地 大狩部
 (旧大狩部開拓婦人ホーム)
 高さ 約1.6メートル

丘陵地である大狩部は、太平洋を眺望できる見晴らしが良い地です。そのため、皇室が新冠におこしになった時、休憩場所として利用された歴史があります。
昔、馬は農耕や移動の際に用いられ、大切な動物として扱われました。特に新冠は、現在においても馬産地であることから、馬の無事息災を願い「馬頭観世音」をよく建立しています。大狩部にある馬頭さんは、昭和四十八年に建立されたもので、自治会の方々が大切にしています。
興味深いのは、その石碑に寄り添うように、小さな石碑がちょこんと置かれていることです。川原にあるような普通の石に、「馬頭観世音」と刻まれています。まるで親子のような風情が感じられます。